授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
日常生活援助技術Ⅲ	1年次	通年	1	30	有

科目責任者	四ノ宮真寿美
授業概要	人間が生命を維持するのに欠かせない食事と栄養摂取および排泄の意義・基礎知識を理解し、適切な援助方法について学ぶ。
目標	1. 食事・栄養の意義と基礎知識が理解できる。 2. 適切な食事介助の方法と観察、留意点が理解できる。 3. 非経口栄養摂取の援助方法と観察、留意点、合併症について理解できる。 4. 排泄の意義と基礎知識が理解できる。 5. 対象に応じた排泄の援助方法と観察、留意点が理解できる。 6. 排泄援助における看護師としての倫理的配慮について考えられる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	食事・栄養の意義（生理的・心理的・社会的） 食事摂取基準	四ノ宮	講義
2	栄養状態および摂食能力、 食欲や食に対する認識のアセスメント	四ノ宮	講義
3	医療施設で提供される食事の種類と形態 食事摂取の介助：援助の基礎知識	四ノ宮	講義・演習
4	食事摂取の介助　A	四ノ宮他	演習
5	非経口的栄養摂取の介助：経管栄養法	四ノ宮	講義・演習
6	経鼻経管栄養法：頚部回旋法　B	四ノ宮他	演習
7	非経口的栄養摂取の介助：中心静脈栄養法	四ノ宮	講義
8	自然排尿および自然排便の基礎知識、排尿・排便障害の種類	四ノ宮	講義
9	排尿・排便の援助方法（おむつによる排泄援助）	四ノ宮	講義・演習
10	排尿・排便の援助方法 （トイレにおける排泄介助、ポータブルトイレでの排泄介助 ／床上排泄援助・尿便器の選択）　C	四ノ宮	講義・演習
11	排便を促す援助（浣腸・摘便）	四ノ宮	講義・演習
12	排便を促す援助（浣腸・摘便）　D	四ノ宮他	演習
13	導尿（一時的導尿）	四ノ宮	講義・演習
14	導尿（一時的導尿）　E	四ノ宮他	演習
15	終講試験	四ノ宮	―

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野１　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　医学書院 看護がみえる　vol.1　基礎看護技術　MEDIC　MEDIA 看護がみえる　vol.2　臨床看護技術　MEDIC　MEDIA
参考書	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　メディカ出版 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第2版　医学書院
評価方法・基準	試験（60%）、A～E 提出物（課題・内容）演習態度（40%） ※この科目は基礎看護学実習Ⅱの履修条件である。